土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　火の山川　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託

事業名 または 工事名

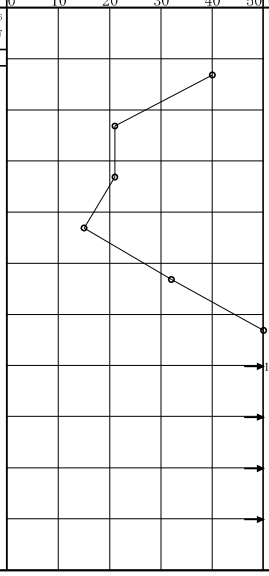
調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.7	**調査位置**	広島県山県郡北広島町中山地内			**北緯**	34° 44′ 19.0900″
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所			**調査期間**	2019年 12月 16日 ～ 2019年 12月 17日	**東経**	132° 29′ 56.3067″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 447.56m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°
総削孔長	10.00m	**使用機種**		**試錐機**	東邦D1-C		
				エンジン	ヤンマーNFD-12	**ポンプ**	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	447.21	0.35		シルト混じり砂		暗褐				表層0.1mは草根を含む表土。深度0.2m以浅は淘汰の良い中砂だが，以深はシルト分多い。含水は小～中位。	12/16 9.8%
1				礫混じり砂		暗褐～黄褐	rd3			φ5～50mmの亜角～亜円礫を10～40%と不均質に混入する。基質は深度1.9m以浅はシルトを多含するが，それ以深ではシルトをわずかに含む淘汰の良い中砂～極粗砂である。	
2											
3											
4											
5											
6	441.06	6.50									
	440.66	6.90		玉石混じり砂礫		黄褐～橙	rd4			L=7.5cmの玉石とφ5～60mmの亜円礫を70～80%混入。基質は半固結状のシルト混り粗砂～極粗砂。含水は小。	
7				風化花崗岩		橙				コア肌は粗いが深度7.3m以深でなめらかとなる。片～角礫状コア主体で亀裂に沿って割れる。ハンマー軽打で鈍い金属音～澄んだ金属音。亀裂面のみが褐色となる。CL級岩盤。	
8	439.81	7.75		花崗岩		橙～淡橙				コア肌なめらかな短柱状コア主体（一部は片状）。ハンマー軽打で金属音。亀裂沿いに幅1mm以下の流入粘土を挟む部分もあるが概ね密着し褐色化していない。CM級岩盤。	
9											
10	437.56	10.00									

標準貫入試験

深度－N値図



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
40	1.15	11	15	14	40/300		
	1.45						
21	2.15	7	7	7	21/300		
	2.45						
21	3.15	5	6	10	21/300		
	3.45						
15	4.15	3	5	7	15/300		
	4.45						
32	5.15	6	15	11	32/300		
	5.45						
50	6.15	14	17	19	50/300	300	
1500	6.45	50/10			50/10	10	
	7.00						
	7.01						
	8.00	貫入不能			50/0		
	8.00						
	9.00	貫入不能			50/0		
	9.00						
	10.00	貫入不能			50/0		
	10.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					12/16
					12/17